

公益財団法人 中辻創智社

困難な状況にある子ども達への学習支援 申請書 <記載例>

申請日： 2025 年 11 月 5 日

次の 1~19 について下線部もしくはボックス内に必要事項を記載してください。プルダウンがあるところは該当するものを選択してください。右上の申請日を記載してください。前回（2025 年公募）採択団体で今回も申請する場合は、20 についても記載してください。

1. 申請団体名を記載してください。

〇〇子ども食堂

2. 団体種別を下記プルダウンから選択してください。

任意団体

プルダウンで「その他」を選択した場合、具体的に団体種別をご記入ください。

3. 団体所在地（住所）を記載してください（郵便物が届く住所をご記載ください）。

郵便番号 604-00xx

住所 京都市〇〇区〇〇町 1-2-3

4. 団体連絡先の電話番号、メールアドレスを記載してください。

電話番号 075-xxx-xxxx

メールアドレス info@xxx.com（代表）、xxx@xxx.com（申請者）

5. 団体の設立年月日を西暦で記載してください。

2015 年 x 月 xx 日

6. 団体の代表者氏名、申請担当者氏名を記載してください。

代表者氏名 〇〇 〇〇〇

申請担当者氏名 〇〇 〇〇〇〇

7. 団体ウェブページ（SNS を含む）が有る場合は、URL を記載してください。

無い場合は「無し」と記載してください。

https://www.xxx.xxxxxxxx.xxx

8. 団体の分類を下記プルダウンから選択してください。

子ども食堂

「その他」を選らんだ場合、例えば、「学習教室」「養護支援」のように具体的にどのような活動を行う団体なのかも記載してください。

9. 本助成金への申請金額を記載してください（50 万円、もしくは 50 万円以下の任意の金額）。

50 万円

10. これまでに行政や民間助成団体から学習支援を目的とした助成を受けたことが有るか無いか、チェックボックスにチェックを入れてください。「有る」をチェックした場合、助成金名と金額をすべて記載してください。

- (10-1) 2024 年度に学習支援を目的とした助成を受けた事が ☒有る ☐無い

助成金名：京都府〇〇助成金

金額：10 万円

- (10-2) 2023 年度に学習支援を目的とした助成を受けた事が ☐有る ☒無い

助成金名：_____

金額：_____

- (10-3) 2022 年度に学習支援を目的とした助成を受けた事が ☒有る ☐無い

助成金名：(1)〇〇財団助成金、(2)京都府〇〇補助金

金額：(1)10 万円、(2)10 万円

- (10-4) ~2021 年度までに学習支援を目的とした助成を受けた事が ☒有る ☐無い

助成金名：〇〇財団助成金（2019 年度）

金額：15 万円

11. これまでに行政や民間助成団体から学習支援以外を目的とした助成を受けたことが有るか無いか、チェックボックスにチェックを入れてください。「有る」をチェックした場合、助成金名と金額をすべて記載してください。

- (11-1) 2024 年度に学習支援以外を目的とした助成を受けた事が ☒有る ☐無い
助成金名：(1)京都市〇〇補助金、(2)〇〇助成金
金額：(1)20 万円、(2)5 万円
- (11-2) 2023 年度に学習支援以外を目的とした助成を受けた事が ☐有る ☒無い
助成金名：_____
金額：_____
- (11-3) 2022 年度に学習支援以外を目的とした助成を受けた事が ☒有る ☐無い
助成金名：京都府〇〇事業補助金
金額：10 万円
- (11-4) ~2021 年度までに学習支援以外を目的とした助成を受けた事が ☐有る ☒無い
助成金名：_____
金額：_____

12. 2025 年度に申請中・受給中の行政や民間団体からの助成金・補助金があるか無いか、
チェックボックスにチェックを入れてください。「有る」をチェックした場合、助成金
名と金額を記載してください。

- (12-1) 2025 年度に申請中の学習支援を目的とした助成金等が ☐有る ☒無い
助成金名：_____
金額：_____
- (12-2) 2025 年度に申請中の学習支援以外を目的とした助成金等が ☒有る ☐無い
助成金名：〇〇〇助成金
金額：20 万円
- (12-3) 2025 年度に受給中の学習支援を目的とした助成金等が ☐有る ☒無い
助成金名：_____
金額：_____
- (12-4) 2025 年度に受給中の学習支援以外を目的とした助成金等が ☐有る ☒無い
助成金名：_____
金額：_____

13. 2025 年度の収入について、本助成金と 12 番に記載したもの以外が有るか無いかチェックボックスにチェックを入れてください。「有る」をチェックした場合、収入名、金額を記載してください。年度末までの見込値あるいは確定している金額を記載してください。

2025 年度の学習支援目的のその他の収入が ☐有る ☒無い

収入名：_____

金額：_____

2025 年度の学習支援目的以外¹のその他の収入が ☒有る ☐無い

収入名：子ども食堂利用費 1 回あたり 1 人 50 円

金額：合計約 15 万円程度

14. これまでに子ども達への学習支援を実施したことがあるか「有る」「無い」を選んでください。「有る」を選んだ場合 14-1 へ、「無い」を選んだ場合 14-2 へ、記載してください。

学習支援の実績が ☒有る ☐無い

- 14-1. 学習支援の実績が「有る」を選択した場合、次の項目へ回答を記載してください。

- (1) 学習支援はいつから実施していますか。

2018 年 xx 月より実施

- (2) 学習支援は、どれくらいの頻度で実施しています。

週 2 回 (月・木)、夏休みは週 4 回行います。

- (3) 学習支援の実施の、年間の合計回数は何回ですか。

120 回

- (4) 学習支援以外の、団体の通常の活動の頻度はどれくらいでしょうか。

週 4 回 (月・火・木・土)

- (5) 学習支援の対象は誰ですか。該当するもの全てをチェックしてください。

☒ 小学生、☒ 中学生、☒ 高校生、☐ 外国ルーツ児童、☒ 不登校児童、
☐ 障がいがある児童、☐ その他

* その他をチェックした場合、具体的に記載してください。

- (6) 学習支援の対象となる人数はどのくらいですか。

1 回当たり：10 人程度 年間のべ人数：約 1200 人

14-2. 学習支援の実績が「無い」を選択した場合、次の項目へ回答を記載してください。

(1) 学習支援はいつから実施する計画か記載してください。

(2) 学習支援は、どれくらいの頻度で実施する予定か記載してください。

(3) 学習支援の実施の、年間の合計回数は何回ですか。

(4) 学習支援以外の、団体の通常の活動の頻度はどれくらいでしょうか。

(5) 学習支援の対象は誰ですか。該当するもの全てをチェックしてください。

☐ 小学生、☐ 中学生、☐ 高校生、☐ 外国ルーツ児童、☐ 不登校児童、
☐ 障がいがある児童、☐ その他

* その他をチェックした場合、具体的に記載してください。

(6) 学習支援の対象となる人数はどのくらいになる見込みですか。

1 回当たり：_____ 年間のべ人数：_____

15. 本助成事業は、助成金の 50%以上を学習支援のための人件費（大学生や大学院生などの若い世代）に充てることを申請要件としています。学習指導にあたる若者への伝手が有るかどうかが記載してください。「有る」を選んだ場合 15-1 へ、「無い」を選んだ場合 15-2 へ、記載してください。

学習指導にあたる若者への伝手：☒有る ☐無い

15-1. 若者への伝手が「有る」を選択した場合、どのような伝手・ご縁が何名程度あるかを具体的に記載してください。

伝手の内容：子ども食堂ボランティアの大学生（〇〇大学〇〇サークル）

人数：5人程度

15-2. 若者への伝手が「無い」を選択した場合、学習指導にあたる若者をどのように探す予定かを具体的に記載してください。

16. 団体の通常の活動について、内容や目的、対象、活動に取り組む理由を記載してください。団体のチラシやポスター等、活動の様子がわかる資料があれば別途ご提出ください。

〇〇地域は、小学校における一人親家庭率が約 40%と高く、生活保護家庭も約 20%であり、行政課題が多く集中している地域の一つです。地域活動を通じて生活困窮世帯の子ども達が幾度となく傷つき SOS すら出せない状況を目の当たりにし、子ども達が空腹を満たし心の拠り所にできる場所があればと考え、有志3名で子ども食堂を立ち上げました。現在は、スタッフ5名に加え、社会人ボランティア3名、大学生ボランティア3~5名で週4回（月・火・木・土）活動し、子ども食堂には毎回小学生・中学生約10名が訪れます。学校給食がない夏休みは子ども達が元気に過ごせるよう、できるだけ活動時間をのばして対応しています。地域の民生委員や小中学校とも連携をとり、虐待等の問題にも対応しています。子ども食堂の設立当初よりスタッフが子ども達の宿題を見ていたのですが、勉強自体に興味を持ってない子どもが多く、食堂の片手間では対応が難しくなったため、2018年xx月より近隣大学のボランティアサークルの大学生に来てもらい学習支援を開始しました。子ども達の学習への動機付けとして、夏休みの花火大会やクリスマス会を企画し、買い物リストや予算作成、お店への買い出しを通じて学ぶことの大切さを実感してもらえよう工夫しています。日々の子ども食堂の様子やイベントについては、チラシとポスターを参考資料として別添します。大学生ボランティアの皆さんに来てもらえるようになったことで、自分たちに年齢の近いお兄さん・お姉さんに心を開く子どもが増えました。身近なロールモデルを得たことで、高校や大学への進学を考える子どもも増えました。また、大学生側にとっても自己肯定感の向上の一助となれており、良き経験を積んでもらえています。これまで大学生ボランティアの皆さんには交通費すら出せず心苦しかったため、本助成金を活用し少しでも報いることができたらと思ったため、申請いたしました。

17. 本助成金による学習支援の実施計画を記載してください。

(1) 実施場所：〇〇子ども食堂内

(2) 実施スケジュール：週 2 回 (月・木) 16:00~19:00、夏休みは週 4 回 15:00~18:00

(3) 実施の年間の合計回数：120 回

(4) 学習支援の対象者について、該当するもの全てをチェックしてください：

☒ 小学生、☒ 中学生、☒ 高校生、☐ 外国ルーツ児童、☒ 不登校児童、
☐ 障がいがある児童、☐ その他

* その他をチェックした場合、具体的に記載してください。

(5) 1 回あたりの見込まれる参加者数：毎回 10 人程度

(6) 年間の参加者のべ数（見込み）：約 1200 人

(7) 学習指導にあたる若者と人数：近隣の〇〇大学の大学生 3~5 名

(8) 具体的な実施計画について具体的に記載してください：

毎週 2 回 (月・木) の夕食前に宿題を中心に取り組みます。子ども達の自己肯定感と達成感を育むため、宿題の内容に近いところの問題集やドリルも活用しています。また、授業でわからなかったところやテストの復習にも力を入れています。

夏休みは、夏休みの宿題を中心に取り組みます。子ども達の興味をはぐくみ、夏休みらしい特別感を出すため、例えば理科の勉強と花火を組み合わせたり、植物の観察と収穫、食事を組み合わせたり、楽しみながら学べる機会を設けます。

毎回、平均 3 名の大学生ボランティアが来てくれ、これに元中学教員の社会人ボランティア 2 名を加えた 5 名ほどで、学習指導にあたります。一人で座って宿題に取り組める子どもばかりでなく、勉強に意味を見いだせない子どもやじっとしてられない子どもについては、一対一で丁寧に話を聞きながら対応しています。

月に 1 度、大学生や社会人ボランティア、スタッフでミーティングをもち、学習指導の課題や対応について相談し、情報共有を行なっています。

18. 本助成金の支出計画を記載してください。

費目	内訳及び積算根拠（名称・単価・個数など）	金額（円）
学習支援人件費（若い世代）	学習指導 1 回あたり 1,000 円 x 3 名 x120 回	360,000
	交通費 1 回あたり 500 円 x1 名 x 120 回	60,000
	(A) 学習支援人件費（若者）合計（円）	420,000
文房具	ノート（200 円 x20 冊）、鉛筆（1,000 円）	5,000
雑貨	花火代	10,000
食料品	クリスマス会のお菓子・飲み物代	15,000
書籍代	問題集ドリル代（1,500 円 x30 冊）	45,000
消耗品	印刷用紙・コピー代	5,000
	(B) 学習支援人件費（若者）以外の合計（円）	80,000

- * (A)の学習支援人件費は、応募要件である大学生や大学院生などの若い世代への費用を記載してください。
- * 若い世代以外への学習支援人件費、学習支援以外の人件費（専門家への講師謝礼、食堂の調理補助など）は(B)へ記載してください。

申請金額の総合計（A+B）：500,000 円

学習支援人件費の割合（A/(A+B)）：420,000/500,000=0.84

19. 貴団体と連携がある団体、共同での活動がある団体があれば記載してください。無い場合は「無し」と記載してください。

〇〇大学の〇〇サークル（学習指導員として）

〇〇フードネットワーク（食材の提供）

△△子ども食堂、□□子どもの居場所（学習支援について相互に協力体制）

20. 前回（2025 年公募）採択団体で、今回の公募にも申請する場合、記載してください。同一団体の採択は最大 3 回までです。

(1) 2025 年の子ども達への学習支援について、実施状況を具体的にご記載ください。

(2) 2025 年の子ども達への学習支援について、得られた成果や課題をご記載ください。
